

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	② ③
配架 番号	3 A
	14
	76-17

①

昭和十九年海軍記念日

海軍資料
1. 海軍人子供ノメモ

支那方面海軍部

国立公文書館	
分類	
配架番号	76-17

皆 日 々 征 今 日

Japanese navy day speech
in China

別ノ本
マラレ
日ノ率
唯ヲ遠
一艦隊
マスコ
並ニ重
一前日

めくれず

皆サン、本日ハ第三十九回目ノ海軍記念日デアリマス、三十九年前ノ本
日ハ「天氣晴朗ナレドモ波高シ」ト東郷司令長官ガ大本營ニ打電セラレ
タノデアリマスガ、天氣晴朗ニシテ波高キ對馬沖デ我東郷司令長官ノ率
コル聯合艦隊ハ遙カ北「コーロバ」ノ「バルチック」海カラ二萬哩ヲ遠
征シテ參ツタ「ロゼストウエンスキー」提督麾下ノ「バルチック」艦隊
ヲ粉碎シ日本帝國ヲ磐石ノ安キニオイタ記念スベキ日ナデアリマス。
今日日本帝國ガ「アジア」ノ天地ニソノ魔手ヲ伸バシテキタ米英並ニ重
峻ノ三ヶ國ヲ相手トスル實力ヲハルニ到ツタ原因ハ實ニ三十九年前日

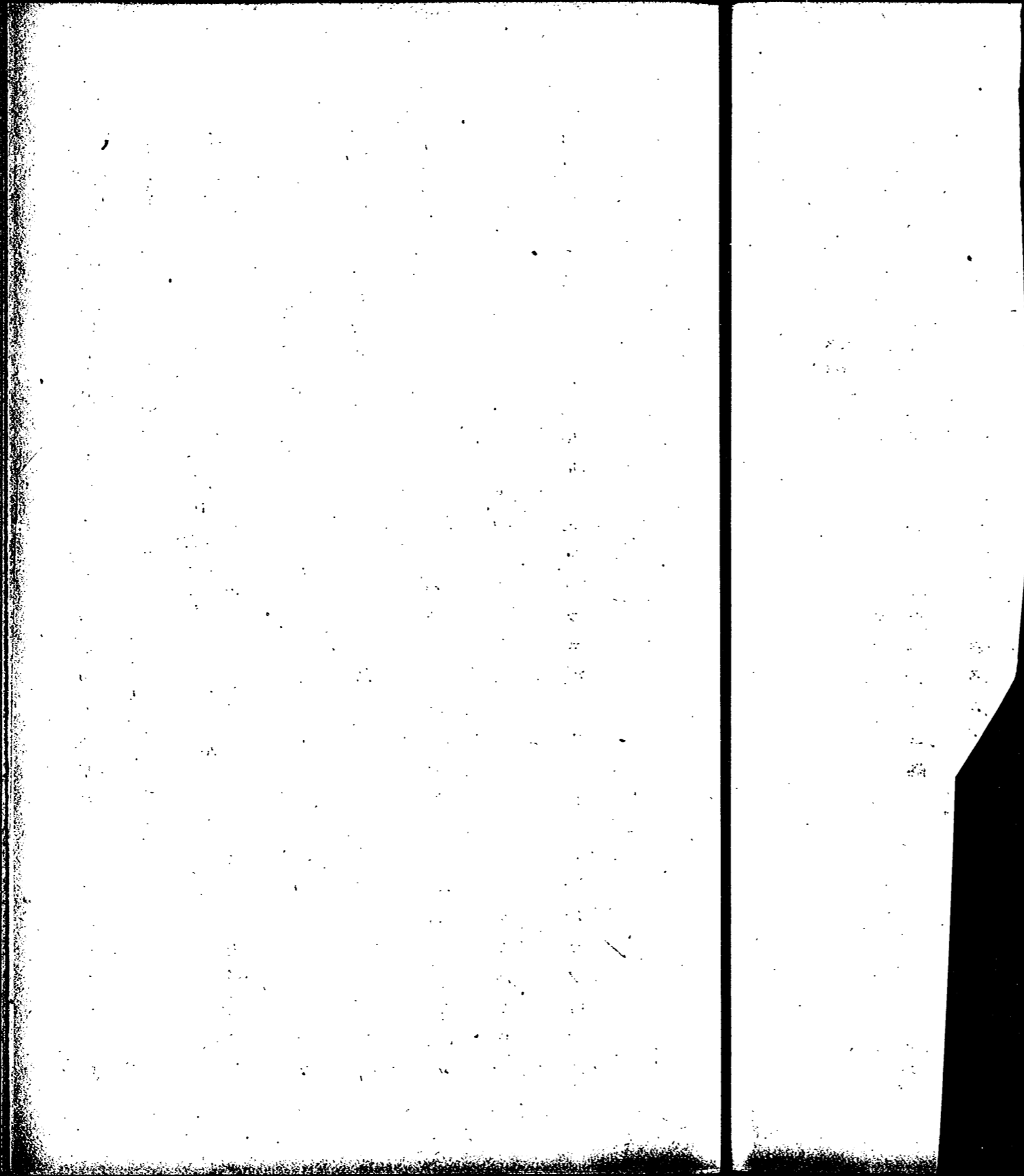
本海々戦ニ於テ我ガ聯合艦隊ガ歴史未曾有ノ戦勝ヲ見テ得タカラデアリ
マス。

皆サン、我々ハコノ困難ナ戦争ニバキマシテ昨年ノ五月ニハ山本元帥ヲ
喪ヒ、今月又古賀元帥殉職ノ報ニ接シタデアリマスガ、決戦ハ愈々コ
レカラデアリマス。

山本、古賀兩元帥ハ實ニ東郷元帥ガ海軍ニ遺サレタ偉業ヲ受テ繼
レ、帝國海軍ヲ世界第一ノ海軍トシテ大成サレタ方デアリマス。帝國海
軍ノ三代目ヲ繼グ名將ハ必ズヤ諸君ノ中カラ出ルモノト私ハ深く期シテ

キルノデアリマス。

皆サン、山本元帥ハ太平洋ノ某地點ニ飛行機ニ搭乗シツ、空戦ヲ指揮セ
ラレ激弾ニヨツテ倒レラレタデアリマスガ、



ソノ最期ノ立派リハマサニ巨木ノ並ル、ガ如ク
否音カラ滅多ニ使ハレナイ貴重ナ言葉ガアリマスガ、ソレハ「巨星地ニ
降ツ」トイフノデアリマス、山ノ元帥ハ巨イナル星ガ隊ツル如ク逝去セ
ラレタノデアリマス。

古賀元帥モ亦太平洋ノ栄地點ヲ飛行機ニ搭乗シ、全般ノ作戦指揮ヲサレ
ナガラ逝去サレタノデアリマス。古賀元帥ハ元支那方面艦隊司令長官チ
アラレマシタノデ、皆サンノ中ニハ古賀元帥ニオ曾ヒニホツタ方々モ多
イト思ヒマスガ。古賀元帥ハ見ルカラニ温雅ナ方デアリ、慈父ノ様ナ優

シサニ溢レテ居タ方デアリマシタ。ソシテ一方モハ極メテ茫洋トシテ何
トも思フコトナシキ。古賀元帥ハ、ソノ考ヘテ居ラレルカ一向ツカメナイトイツタ大キイ所ノアル方デシタ。
勝海舟ハ曾テ西郷サンヲ批評シテ、小サク叩ケバ小サク鳴リ大キク叩ケ
バ大キク鳴ルトソノ底知レヌ偉大サヲ賞揚シタ事ガアリマスガ、古賀元
帥モマサニ右ノ批評ガビツタリヌル謙ナ偉大ナル底知レヌトコロガアツ
タノデアリマス。
由來戦争ニ於キマシテハ、敵將ノ性格ヲ知ル事ガ大切ナ秘訣ノ一ツデア
ルトサレテ居リマス。例ヘバ米艦太平洋艦隊司令長官「ニミツツ」ナ西

南太平洋聯合軍總司令官「マツカーサー」將軍ノ性格ヲヨク知り、出來ルコトナラバ各參謀、各前線部隊長ノ氣質迄ヨク呑ミ込メテオク事ハ戰ニ於テ勝ヲ制スル要諦デアリマスガ、カシ古賀元帥ノ如クドンナ人カトント判ラズ茫漠トシテツカマヘドコロ、無イトイツタ人ハ敵ニトツテ最モ怖ルベキ名將ナノデアリマス。「ニミツツ」ガ作戰計畫ヲ樹テルトキニ古賀サンヲドウ考ヘテヨイカ見當ガツヤナイノデアリマス。「ニミツツ」ノ不安トイフモノハ一ケ年間ノ戰爭ノ進リ方ヲ見テミマスト實ニヨク現レテタルノデアリマス。古賀サンハ昨年五月聯合艦隊司令長官ニ

ナラシマシタ、ソレマデハ山本元帥ガ司令長官デアッタノデアリマス。山本元帥ハ數學ノ天才トイハレタ程思慮周密デアルト共ニ斷行型ノ人デアリマシテ、謂ハバ向フ意氣ノ強イ人デアリマス。山本元帥ハドシドシ進撃シ、到ル處デ米國海軍ヲ擊碎シ、一萬ニ亘ル島々ヲ占領シタノデアリマス。ツマリ鬼神モ避クルガ如キ斷乎タル行動ニ出ラレ、砲光石火ノ如キ辭力ヲ戰爭ヲヤラレタ方デアリマシテ、「ニミツツ」ハ手モ足モ出ナカッタノデアリマス。シカシ我方ノ戦力ニモ限りガアリマシテ、コ、ラ、タ、タ、リ、テ、内、ノ、軍、備

生産ヲトシドシ増産シ、兵力モウシト殖サネバナラヌ時期ニナツタノデ
アリ、マス。ツマリ防禦攻撃ヲヤリ、ガラ、日本ノ占領地ニ建設シ、軍
艦モ輸送船モ飛行機モ彈丸モウシト造ラネバナラヌ時期ニナツタノデア
リ、マスガ、コノ時期ニ古賀サンガ聯合艦隊司令長官ニナラレタトイフ事
ハ「ニミツツ」ニトツテ非常ナ痛手デアツタノデアリ、マス。古賀サンガ
何ヲ考ヘテ居ルカ判ラストイフ事ガ「ニミツツ」ニハ浸モ困ルノデアリ
マス。ソコデ「ニミツツ」ト「マツカーサー」ハ時々聯合シテ日本軍ヲ
攻メルノダケレドモ、ドウ攻メテヨイカ判ラヌ、マルデ暗夜ヲ手サグリ

足ヲグサシナガラ歩イテ居ル様ナモノデ、何處カラ飛ンデ來ルカ判
ラナイトイツタ狀況ナノデアリ、マス。

米國ハ「ギルバート」ニモ「マーシャル」ニモ、ソレカラ「ソロモン」

「ニューブリテン」ニモ「ニューアイルランド」、
「ニコロギニア」等

モ來襲シテ來マスケレドモ、イツモオツカナビツクリテ來ルノデアリ

マス、彼等ハ日本ノ戰略的要線ガ何處デアルカ見當ガツカナイシ、マタ

日本ノ聯合艦隊ガ何處ニ居ルカマルテ雲ヲツカム様ナ氣持ヲ居ル、ソコ

デ米國ハコノ日本ノ秘密ヲ知りタイト考ヘテ盛シニ新聞、雜誌、「ラジ

オ」等ノ宣傳機關ヲ速ビ「日本ノ聯合艦隊ヨ出テ來イ」ト呼ビカケテ居ルノデアリマス。一ツノ作戦ガ済ミマスト米艦隊ノ提督ヲ將軍達ハ政府ヘ報告シタリ、新聞記者ニ談話ヲ發表シタリスルノデアリマスガ、ソノ内容ハ直ク私達ノ手許ニ判ル、ソレヲ見マスト「今度モ日本ハ固戰術ヲ拵ラナカツタ」トイフ事ヲ繰返シ述ベテ居ルノデアリマス。彼等ハ勝ツタ勝ツタト慰シニ言ツテ居リマスケレドモ、本心ハ決シテ勝ツタト慰ツテキオイ、イツモ極メテ不安ナ状況ニ居ルノデアリマシテ、ソコニ古賀元帥ノ偉大サガアルノデアリマス。

古賀元帥ガ司令長官トシテ在職サレタ約十一ヶ月間ノ戦果ヲ見マスト、帝國海軍ハ米艦ノ戦艦四隻、航空母艦二〇隻、巡洋艦三十六隻、驅逐艦二十九隻、潜水艦三十隻、魚雷艇十五隻、艦種不明六隻、戦艦又ハ巡洋艦一隻、巡洋艦又ハ大型驅逐艦七隻、小舟艇一九三隻、輸送船一九〇隻ヲ撃沈シ、戦艦四隻、航空母艦七隻、巡洋艦三十隻、驅逐艦一九隻、魚雷艇七隻、艦種不明二隻、戦艦又ハ巡洋艦二隻、巡洋艦又ハ大型驅逐艦八隻、小艇八二隻、驅逐艦三隻ヲ撃破シテヨリマシテ、コノ撃沈破合計ハ八七〇隻トナリ、又飛行機撃破二千六百七十六機以上ニナツテ居ル

ソデアリマス。シカルニ我方ノ損害ハ、沈没巡洋艦二隻、驅逐艦七隻、
特務一隻、合計十隻、大中破巡洋艦三隻、驅逐艦三隻、敷設艦一隻、小
艇一隻、船舶二〇隻、計二八隻、飛行機ノ損害七八〇機ニ過ギナイノデ
アリマシテ、艦船ニオキマシテ二〇隻對一隻、飛行機ニオキマシテ三機
對一機ノ戦争ヲシテイルノデアリマス。右ノ数字ヲ細カク吟味シテ見マ
スト、敵ハ戦艦、航空母艦等ノ主力艦ヲ散々撃沈破サレテヨリマス。又
飛行機ノ数字ノヒラキガ案外少イヤウニ思ヘマスケレドモ、飛行機ハ一
機一機主観ヲ以テ必殺ノ命中彈ヲ敵艦ニ投ジテヨリマスノデ、我方ノ損
害モ案外多イノデアリマシテ、飛行機ト飛行機丈ノ空中戦ナラバ我ガ海

ノ荒鷲連ハ一對一〇ノ戦争ヲ續ケテ居ルノデアリマス。トコノ赫々タル戦
果ハ古賀元帥ガ山本元帥ト並ンデ眞ニ古今ノ名提督デアアル事ヲ立證スル
モノデアリマス。

扱テ戦局ハ極メテ重大デアリマス。昭和十六年カラ十七年ニカケテ敵
ハ東亞ノ天地カラ放逐サレタノデアリマスガ、東ハ「ハワイ」、南ハ「
ガダルカナル」附近ノ島々、西ハ印度ニ到ツテハジメテ立直ツタノデア
リマス。我方ノ補給線ガ長大トホルニツレテ敵ノ補給線ハ短クナツタ、

ソコデ米國ハ「ハワイ」・「ガダルカナル」ニ於テ漸ク立直ツタノデア
マス。

米國ハモトモト資源ガ豊富デアリ、設備モアリマスノデ、艦船ヤ飛行機
ヲ非常ナ「スピード」ヲ造ツタノデアリマス。シカルニ日本ハ資源モ設
備モ貧弱デアル、南方資源ヲ開始スルニハ相當ノ期間ヲ要スル。コレカ
ラハ米國ガ攻勢ニ出ルヘキトキダ。ト米國ノ作戰本意ハ考ヘタノデアリ
マス。ソレハ昭和十七年カラ昭和十八年ニカケテノ米國ノ考ヘ方デアリ
マシタ。トコロガ米國ニトツテハ極メテ困ル問題ガ起ツタノデアリマス。

ソレハ昨年。即チ昭和十八年ノ五、六月頃ニナルト米國ノ生産力ハコレ
以上増大シナイトイフ事ガ判ツタノデアリマス。軍艦、飛行機、彈丸ヲ
ツクルニハ鐵、鋼、銅、石炭、「アルミニウム」、亜鉛、「ニッケル」
「クロム」、「タンングステン」、水銀、雲母、石油、棉花等ガ必要デ
アリマシテ、ソノ中ノ一ツガ缺ゲテモ困ルノデアリマス。然ルニ變ラ物
ノ豊富ナ米國デモスベテ満足ニ揃フトイフ譯ニハ行カナイ、揃ハナケレ
バ兵器ガツクレナイノデアリマス。私共ハ軍需生産ノ頭打チトイフ言葉
デソレヲ表現シテツリマスガ昭和十八年五、六月頃ニ米國ハ頭打チ状態

ニナツタノデアリマス。一方日本ノ南方經營トイフモノハ豫想以上ニ達
リマシテ石油モ錫モ「アルミニウム」モ銅モ棉花モドシドシ取レル事ニ
ナツタ。日本ノ戦力ハ日一日ト増大シテ來タノデアリマス。ソコデ米國
ハ大變狼狽シマシテ昭和十八年秋カラ全面攻撃ニ出タノデアリマス。短
期間ニ勝タナケレバドウナルカ判ラヌ。コレハ大變ダト考ヘタノデアリ
マス。コレニ關シマシテ米國內ニモ甚々タル議論ガ起リマシテ「ルーズ
ヴェルト」ノ政策ヲ非難スルモノ、米國作戰本部ノ間諜トイフヲ指搦スルモ
ノオドガ多クナリマシタ。テ米國ハ短期戦デ日本ニ勝ツトイフ事ヲ國策

ニシタノデアリマス。米國ノ「ラヂオ」放送ヲ總イテ居リマス。ト頻リニ
「スピード」トイフ事ヲ申シテ居リマス。コノ「スピード」トイフ言葉
ハ早く先ヲ急ガウデハナイカトイフ事デアリマシテ、米國ノ合言葉ニナ
ツテ居リマス。

コレニ對シ日本ハ長期戦ヲ以テ編ム、~~身~~犧牲ヲ最少限度ニ止メ、相
手ノ多量ノ出血ヲ促シツ、コチラハ戦力物資ヲ開發シ、飛行機ヲウシ
ト造ルトイフ事ガ戦争ニ對スル一ツノ方針ナノデアリマス。

皆サンハ「アッツ」島、「タラワ」マキン」島ニ於テ帝國陸海軍ノ將兵

ガ玉碎シ、「ガダルカナル」ニ於テ非常ナ苦戦ヲシテガモ敢テ後方ニ
救援ヲ求メオカツタ事實ヲ御記憶ノ事ト思ヒマスガ、コレヲノ將兵達ノ
オ心持ハ「自分達ハ祖國カラ數千哩ヲ距ル「ジャングル」ヤ波ノ間テ護國
ノ人材トナルノヲ光榮トスル、然シ自分達ガ戦ツテ居ル間ニ早く飛行機
ヲ造ツテ呉レ」トイフノデアリマス。

古賀長官ノ率ユル聯合艦隊ガイツモ何處カニ姿ヲ隠シ航空機タケテ敵艦
隊ヲ遊撃シテラリマスノハ敵ノ戦力ヲ消耗サセ適當ナ時期ガ到レバ無傷
ノ聯合艦隊ヲ以テ敵ノ軍事的勢力ヲ根コソギ粉碎スル爲メデアリマス。

敵國ニトリマシテ現在日本ヲ攻メル方法ハ四ツアリマス。一ハ北方カラ
北千島、樺太、北海道へ來ル途、二ハ印度東北方ノ「レド」カラ北部「レ
ルマ」ヲ通ツテ重慶ニ連絡シ、大連ヲ足場トシテ日本へ遊撃スル途、三
ハ南太平洋カラ小笠原ヲ通ツテ東京へ迫ル途、四ハ「ハワイ」「ギルバ
ート」「マーシャル」「ニュージーランド」ガテ「フィリッピン」支那へ渡
リ、ソコカラ日本ヲ攻撃スル途ノ四ツデアリマス。
コノ四ツノ途ヲ研究シテ見マスト、「アリュウシヤン」カラ北千島へハ
大軍ヲ助カスニ容易デハナイノデアリマス。又「レド」公路ハ日本軍ト

印度國民軍「インド」進撃ニヨツテ寸斷セラレントシテアリマス。
南方カラ小笠原へ進ミ、ソコカラ東京へ進撃スルトイフ方法ハ、途中ノ
補給ガ極メテ困難デアリマシテ、日本海軍ニヨツテ一大痛撃ヲ蒙ルトキ
退避スル場所サヘモナイデアリマス。從ツテ米國艦隊當面ノ作戰目標
ハ島カラ島へ蛙跳ビニ跳ンデ、西へ行キ重慶ト連絡ヲスルトイフ事ニア
ルンデアリマシテ、米國ハ昨日モ今日モ是非西方ヘソ途ヲ開カウトシテ
作戰ヲ練ツテ居ルンデアリマス。
コレ起申上ゲマシタ事ヲ戰局ニ對應スル日本ノ態度トイフモノハ、自ら

才判事ト考ヘマス。即チ日本ハ總力ヲ舉ゲテ軍需生産ニ挺身シテ
レバナラヌ、ソノ中デモ特ニ飛行機ノ増産ユカヲ入レナケレバナラヌノ
デアリマス。南方戦線ニ於テ散華セラレタ勇士ノ方々ガ、皆サンノ肉親
ニモオ在リノ事ト感ヒマスガ、コレヲノ尊イ犠牲ヲ出シマシタノモ飛行
機ガ足ラナイトイフ事ガ最大原因ナラザリマス。戰死セラレタ方々
ノ遺言ハスベテ「日本ヨ早ク飛行機ヲ造タレトイフ事デアリマシテ、
或部隊長カラキキマシタ實話ニヨリマス。」「ガダルカナル」ノ小サナ
流レノ畔ニ血マミレノ兵隊ガ尙レテ居タ、部隊長ガ抱キ起シ何カ言ヒ遣

ス事ハ無イカ、親兄弟ユモオ前ノ手柄ハヨク話シテヤルソ、ト言ヒマス
ト兵隊ハムツクリ頭ヲモダゲ、背囊ノ中カラ危イ手ツキチ貯金帳ヲトリ
出シ、「部隊受取、コノオ金チ飛行機ヲ造ツテ下サイ」ト答ヘ患ガ絶ヘ
タノチアリマス。又或從軍記者ガ「ラポール」カラ歸ツテ察リマシタガ
コノ從軍記者ニ對スル前線將兵ノ傳言ハ、慰問袋モ何モ要ラン、飛行機
ヲ早ク送レトイフ事デアリマシタ。南方ハ現在最々恃ム敵飛行機ノ制空
圖下ニアルノチアリマシテ、敵ノ制空圖下ニ在ツテハ補給モ極メテ困難
デアルノチアリマス。從ツテ現在遠々南太平洋ノ某地點ニ對シテハ潜水

艦ヲ以テ秘カニ補給セネバナラヌノチアリマシテ、潜水艦長ニキキマシ
テモ早く飛行機ヲ造リ制空圖ヲ確保セヨト申シテ居ルノチアリマス。コ
レカラ愈々決戦デアリマス、決戦ニ際シテ斷ジテ敵ニ制空權ヲ與ヘテハ
ナラナイノチアリマス。大東亞ノ空ハ斷ジテ我等ノ力ヲ以テ守ラネバナ
ラヌノチアリマス。ソレニハコ、ニオイデニナルオ母様達、オ姉様達ノ
御努力ニ俟ツモノ大ナルモノガアリマスガ、又第二國民ノ諸君ハ早ク學
窓ヲ巢立チ、東郷元帥、山本元帥、古賀元帥ノ遺志ヲ繼ギ三代目ノ帝國
海軍ヲ繼イテ實ハネバナラナイノチアリマス。

今年ノ海軍記念日ハ大東亞戦争ノ運命ヲ決スル決戦ノ眞只中ニ於テ迎ヘ
タトイフ事ヲ深ク銘記セネバナランノチアリマス。

(終)

